

県民の幸せな**みらい**、県勢発展のために皆様の声をお聞かせください

秋田県議会 会派会報

みらい

歳神様の目印に 門松

門松は樹木に宿る神様だと考えられ、松→祀るという語呂合わせから門に祀るものとして「門松」という呼名が生まれたといわれます。毎年元旦になるとその年の恵み、幸、豊作をもたらす五穀豊穡の神である「歳神様」が各家に訪れるとされ、「お正月」はこの歳神様をお迎えするという行事。門松を目印にして迷うことなく歳神様が来ることができるよう飾ります。 ※諸説あります。

No. 2

主な内容

令和元年

9月・12月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者/渡部 英治
編集責任者/東海林 洋

県民の幸せと県勢発展のため 本年も全力で頑張ります!



秋田県議会

福祉環境委員会 委員長

佐藤 正一郎

2020年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて本年は令和の時代の2年目となりますが、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であり、秋田県もさらなる飛躍をめざさなければなりません。

今後も「元気な秋田の創造」をめざして、県政の重要課題である人口減少対策や地域社会の振興、県民の安全・安心と暮らしを守る課題に真正面から取り組んでいく覚悟です。

引き続き、皆様からご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

佐藤正一郎 県議会報告会

2020

新春の集いのご案内

とき 令和2年 1月12日(日) 午後2時～4時30分

ところ 羽後町活性化センター 大ホール
(羽後町西馬音内中野/町役場隣り)

会費 2,000円 (当日、受付で徴収します)

参加申込み

どなたでも参加できますが準備の都合上、事務局 (☎ 0183-67-2559 または 090-7060-4600) へご連絡ください。

9月議会

令和元年・第3回定例会
9月11日～10月8日

今回の補正予算は、秋田の魅力が際立つ、人・ものの交流拡大戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業等について計上した。

9月補正予算の主な内容

新 東北デスティネーションキャンペーン推進事業

..... 267万円

令和3年4～9月に開催されるデスティネーションキャンペーンに向け、東北6県等で構成する協議会の取組を推進する。

● 重点市場におけるFIT誘客プロモーション事業

..... 4,368万円

- ①台湾誘客促進事業 (588万円)、②タイ誘客促進事業 (918万円)、③中国・香港誘客促進事業 (1,518万円)、④新 東京オリ・パラを活用した誘客促進事業 (1,344万円)

東京オリンピック・パラリンピック期間における本県へのインバウンド誘客の拡大を図るため、オリンピック・パラリンピックの観戦チケット付き秋田泊旅行商品の造成を促進する。

新 東京オリ・パラ来訪者への東北誘客情報発信事業 (広域観光連携誘客促進事業)

705万円

東京オリンピック・パラリンピック期間に来日予定の外国人をターゲットに、東北地方への誘客を促進する。

令和元年度 一般会計 補正予算

7億1,385万円

補正後の規模 5,850億 2,884万円

● 医療提供体制整備費補助事業 ... 1億7,054万円

救急医療、へき地医療等に要する設備整備を行う医療機関に対し助成する。

● 総合周産期母子医療センター設備整備事業

..... 1,093万円

安心して出産できる環境の整備を図るため、総合周産期母子医療センターの設備整備に対し助成する。

● 地方独立行政法人秋田県立病院機構貸付事業 (特別会計)

11億 30万円

脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制を構築するため、循環器・脳脊髄センターの既存棟大規模修繕工事に要する資金を貸し付ける。

新 高齢者施設等防災・減災対策等推進事業 636万円

高齢者施設が行う非常用自家発電設備の整備に対し助成する。

9月議会 一般質問



東海林 洋 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 水産資源の徹底活用について
- ◆ 林業木材産業の振興について
- ◆ 農福連携について

鳥井 修 [秋田市]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ 日本のエネルギー政策について
- ◆ 洋上風力発電の導入について
- ◆ 多様な連携によるインバウンド誘客の推進について
- ◆ 「秋田ポジティブキャンペーン」の実施について

9月議会 総括審査



土谷 勝悦 [横手市]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 新屋への配備について
- ◆ 知事の姿勢について

佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアの配備について
- ◆ 自殺予防対策について
- ◆ 新スタジアムの整備について

議会議決 秋田県監査委員

三浦 茂人 [秋田市]

事務や事業の管理などが適正に行われているか監査や審査等を実施

知事の指揮監督に服さず、知事から独立の立場で各種監査や審査等を実施します。(任期は議員任期)

予算特別委員会

渡部 英治 [大仙市・仙北郡]

予算議案及びその関連事項などを審査するため、議員全員をもって構成される特別委員会

設置期間/
令和元年 5月13日～令和3年 5月31日

渡部 英治 副委員長として議事進行

令和元年
10月17日～11月7日

決算特別委員会

一般会計および特別会計の 決算について審査

副委員長として委員会運営に
携わりました

副委員長
吉方清彦 [能代市・山本郡]



総括審査

鳥井 修 [秋田市]

◆「スポーツ立県あきた」の推進
とスポーツによる交流人口の
拡大について

- ・トップスポーツについて
- ・部活動について
- ・指導者育成について
- ・環境整備について



令和元年・第3回定例会
11月26日～12月20日

12月議会

今回の補正予算は、新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上した。

12月補正予算の主な内容

新CSF等緊急防疫対策事業 …… **7,616万円**

CSF（豚コレラ）等の防疫対策として、農場周囲に野生イノシシ等侵入防止用の防護柵を設置する養豚経営体に対し助成する。

本社機能等移転促進事業 …… **2,199万円**

県外から本社機能等を移転する企業に対し移転等経費の一部を助成する。

医療提供体制整備費補助事業 …… **1,080万円**

がん診療連携拠点病院等が行う設備整備に対し助成する。

地域医療介護総合確保基金積立金
…………… **23億1,596万円**

地域における医療・介護の充実を図るための事業に活用する基金の積み増しを行う。

令和元年度 一般会計 補正予算

27億 574万円

補正後の規模 **5,877億 3,459万円**

●地方独立行政法人秋田県立病院機構支援事業

…………… **3億1,987万円**

脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制を構築するため、同機構が行う循環器・脳脊髄センターの既存棟大規模修繕工事に対し助成する。

●特定医療費（指定難病）助成事業

…………… **1億4,165万円**

指定難病に係る医療を確立・普及するとともに、患者の負担軽減を図るため、特定医療費（指定難病）を助成する。

12月議会 一般質問

三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 令和2年度当初予算編成方針等について
- ◆ 働き方改革について
- ◆ 地方創生について
- ◆ 林業振興について



土谷 勝悦 [横手市]

- ◆ 第2期あきた未来総合戦略について
- ◆ 雄物川流域の防災対策について
- ◆ イージス・アショアについて



12月議会 総括審査

佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ 県・市連携文化施設について
- ◆ スタジアム整備について



東海林 一洋 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ イージス・アショアについて
- ◆ 秋田県の医療体制の整備について
・現状の認識と基本的な考え方について
・がん医療について

吉方清彦 [能代市・山本郡]

- ◆ 能代地区専門系統合校の名称等について
- ◆ 学校へのエアコン設置の考え方について



佐藤正一郎の 県議会レポート



県議会では県政の諸課題について先進地の調査をしています。福祉環境委員会では今回、最先端の医療システムや地域での福祉政策、エネルギーと環境問題などについて県内外で調査。政務活動では防衛施設の候補になっている自治体などを訪ねてきました。

山口県むつみ演習場 視察

地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備候補地である山口県萩市と阿武町にある陸上自衛隊むつみ演習場を視察し、反対を表明している阿武町の花田憲彦町長とも面談してきました。



山口県阿武町の花田憲彦町長と

福祉環境委員会 調査活動



静岡県立
静岡がんセンター
〈静岡県三島市〉

がん治療では日本でトップクラスと評価されている静岡がんセンター。最先端技術と相談支援、緩和ケアが充実しています。

社会福祉法人
花輪ふくし会
〈鹿角市〉

鹿角市にある障がい者の自立支援施設では、杉苗やきのこ栽培、比内地鶏の飼育など農福連携で仕事に励んでいました。



わさびざわ
山葵沢地熱発電所
〈湯沢市〉

湯沢地熱株式会社国内で23年ぶりに運転を開始した発電所は、CO₂排出量の抑制と電力の安定供給に貢献しています。



秋田県議(無所属)
元羽後町長

佐藤正一郎さん

東欧では町まで5キロもある

イージス・アショア配備が住民生活にどう影響するのか。県議会の超党派で、すでに配備されているルーマニアと、整備計画が進むポーランドを昨年11月に視察しました。

西国では、ルーマニア軍やポーランド軍の基地内に米軍のイージス・アショアが配備される形になっています。

も住宅地から離れているという事です。配備先の基地は、ポーランドが7000畝、ルーマニアも10000畝。約1000畝の陸上自衛隊新屋演習場の何倍もの大きさで、十分な緩衝地帯がありません。

この演習場は南北に細長く、今も実弾訓練ができます。そんな場所に巨大なミサイル基地はいかがなものか。新屋配備は、政党的枠を超え、だめなものだめだということですよ。



秋田県議(無所属)
元羽後町長

す。住民の居住地とは4〜5キロ離れていました。一方、陸自新屋演習場は住宅地に近く、半径3キロほどの範囲に県庁や市役所があります。

「元気な秋田」を創造しよう!!
<https://www.sho-ichiro.net/>

さとう正一郎ホームページ
さとう正一郎 検索

令和元年11月24日付 しんぶん赤旗(日曜版)に掲載された談話